

# 議会

# だより

# 131

## 6月定例議会号

令和4年8月

発行 佐呂間町議会



### TOPIC

町政について議員が問う

一般質問「住民窓口サービスの向上について」など

まちで輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔でまちを元気に！「佐呂間町野球協会」の皆さん

〈栄地区盆踊り〉

3年振りに開催された盆踊り。子どもから大人まで元気に踊っていました。  
打ち上げ花火もきれいでした。

(令和4年7月14日撮影)



# さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

# 第2回定例会

・審議した議案②

# 第2回定例会

・審議した議案①

第2回定例会が6月17日から20日の間で開催され、議案13件、報告1件、意見書2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

## サロマ湖展望台の大規模改修工事がスタート 観光物産PRを推進する拠点づくり用地・建物購入費を補正

### 審議した議案

#### 予算

■令和4年度一般会計補正予算(第3号)  
4332万円が追加され、予算の総額が56億3793万円になりました。

- 【主な歳入】
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 569万円
  - ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費補助金 300万円
  - ・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費補助金 150万円
  - ・建設機械整備事業費補助金 443万円
  - ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 443万円
  - ・建設機械整備事業費補助金 ▲2118万円

・財政調整基金繰入金 3221万円  
・建設機械整備事業費 1650万円

- 【主な歳出】
- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業補助金 300万円
  - ・子育て世帯生活支援特別給付金 150万円
  - ・予防接種委託料 768万円
  - ・宿泊業活性化補助金 314万円
  - ・観光デジタルポータルサイト利用促進事業委託料 653万円
  - ・幌岩山林道一方通行化看板設置工事 452万円
  - ・用地・建物購入費 983万円
  - ・武道館・温水プール階段手摺設置工事 177万円

#### 条例

■選挙ポスター掲示場の設置に関する条例の一部改正  
仁倉地区の選挙人名簿登録者数の減少により、現在分かれていた2投票区(仁倉・浜佐呂間)を一つに統合する改正で、合わせてポスター掲示場の設置数も変更になることから、条例の一部を改正するものです。

■国民健康保険税条例の一部改正  
平成30年度の国保制度改正により、全道的な保険税の平準化のため、国保税条例の一部を改正するものです。

#### 報告

■繰越明許費繰越計算書  
令和3年度一般会計から、次の事業分が令和4年度に繰り越しになりました。

#### その他

- 北海道市町村総合事務組合規約の変更  
北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更  
本年4月1日に、4町(当麻町、比布町、愛別町、上川町)で構成する「上川中部福祉事務組合」が新たに設立され、各組合の規約に当事務組合を追加するものです。

■工事請負契約の締結  
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎市街街路灯取替工事
- ①契約の方法 指名競争入札
- ②契約金額 5632万円
- ③工期 令和4年11月30日
- ④契約の相手方 佐呂間町字若佐11番地 面工業・面電気・未来電工特定建設工事共同企業体 代表者 面工業株式会社 代表取締役 面 栄次

■工事請負契約の締結  
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎若佐給水区配水池新設工事
- ①契約の方法 指名競争入札
- ②契約金額 8030万円
- ③工期 令和5年2月20日
- ④契約の相手方 佐呂間町字宮前町74番地 高橋・岸特定建設工事共同企業体 代表者 高橋土建株式会社 代表取締役 高橋 光貴

■工事請負契約の締結  
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎サロマ湖展望台(休憩所)改修工事
- ①契約の方法 指名競争入札
- ②契約金額 7480万円
- ③工期 令和5年1月20日
- ④契約の相手方 佐呂間町字宮前町74番地 高橋・岸特定建設工事共同企業体 代表者 高橋土建株式会社 代表取締役 高橋 光貴

■工事請負契約の締結  
次の契約が締結され工事が行われることになりました。

- ◎下水道管理センター設備改修工事(電気設備)
- ①契約の方法 指名競争入札
- ②契約金額 8470万円
- ③工期 令和5年2月28日
- ④契約の相手方 札幌市中央区大通西5丁目8番地 東洋電機製造株式会社 代表取締役 清水 英治

■財産の取得  
除雪機械を次のとおり更新することになりました。

- ①取得する財産及び数量  
◎除雪機械 1台  
(グレーダー3.7m級)
- ②取得価格 6200万円
- ③納入期限 令和5年3月31日
- ④取得の方法 随意契約
- ⑤売買の相手方 北見市小泉420番地の1 日本キャタピラー合同会社 北見営業所 所長 関下 拓也



現在の除雪機械(グレーダー)

■財産の処分  
町有林素材生産事業により次のとおり生産素材を売却することになりました。

- ①処分する財産及び数量  
◎カラマツ 1100m<sup>3</sup>  
◎トドマツ 125m<sup>3</sup>  
◎トウヒ 347m<sup>3</sup>  
◎広葉樹 57m<sup>3</sup>
- ◎広葉樹  
②処分の目的 町有林素材生産事業その1に伴う売却
- ③処分価格 1639万円
- ④搬出期限 令和4年9月30日
- ⑤処分の方法 随意契約
- ⑥処分の相手方 佐呂間町字西富68番地13 佐呂間町森林組合 代表理事組合長 黒河 富茂

# 第2回定例会

・町長行政報告②

また、5月中旬の雨不足により、直播ヒートも発芽の低下と生育の遅れが出ています。秋撒き小麦については、縮萎縮病の発生が心配されましたが、春先の気温が高かったことから、発生も少なく症状も軽いとのことで、雨不足で草丈は低い状況ですが、農作

■農作物の生育状況  
この春は順調に雪解けが進み気温も高めに推移したこと、作物の播種・移植作業は、例年よりも早く順調に進みましたが、移植ヒートについては、4月末からの強風による風害と低温による凍害で、一部廃耕圃場が発生し、オホーツク管内全般にわたる被害であったことから苗不足も生じたとのことです。

■サロマ湖100kmウルトラマラソンオンライン大会  
今年も代替大会としてオンライン大会の開催が決定し、スマートフォンアプリを使用し、100km又は50kmを1日、2週間、もしくは4週間で目指す大会で、昨年と同様にエントリーしたランナー全員を対象に、1市2町の特産物が当たる抽選会が実施されます。

## ■漁業の状況



■町営牧場の入牧状況  
5月25日・27日両日で入牧が行われ、6月3日現在、3箇所の町営牧場で乳牛302頭が放牧されており、酪農経営の基本である健康で丈夫な牛の育成を図っていきます。

■公共事業の執行状況  
令和4年度に執行を計画する主な工事と委託事業件数は75件で、総額8億7700万円を予定しており、現在の発注率は件数では49%、金額では29%となっています。



## 第3回定例会は9月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報9月号の折込みチラシをご覧ください。  
傍聴を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



# 第2回定例会

・審議した議案③

・町長行政報告①

## 意見書

■食料安全保障の強化を図る  
新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書  
世界の情勢は、新型コロナウイルスやロシアによるウクライナ侵攻の長期化により、原油・生産資材や穀物相場の高騰が続き、各国では食料の安定供給を図る安全保障を最重要課題として自国の食料生産施策を強化する中、我が国の食料自給率は37%と低い状態にあり、第一次産業を主体とする農村地域は、高齢化と人口減少、担い手の不足や耕作放棄地の増加、多発する自然災害により食料生産基盤が脆弱化しており、さらに、コロナ禍による農畜産物の需要減退、食料生産のための燃油や飼料、肥料が高騰し、農業経営が危機的状況です。  
よって、政府による「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」の速やかな実施と将来を見据えた食料安定供給施策および新たな予算の確保を強く要望する意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

■森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
北海道の森林は、全国の森林面積の約4分の1を占めており、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、森林資源の循環利用を進める必要があります。

また、温室効果ガス排出量実質ゼロの目標達成に向け、伐採後の植林、森林の若返りや長期間炭素を固定化するための木材利用の促進、木質バイオマスエネルギー利用促進など、森林吸収源対策を推進する責務を担う必要があります。  
よって、本道の森林を将来に引き継ぐため、活力ある森林づくりや林業、木材産業によるグリーン成長が実現できるように強く要望する意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。



## 町長行政報告(要旨)

■役場庁舎改築に係る協議  
本町の役場庁舎は、向かって中央部分が昭和40年、西側部分が昭和44年に建設され、築後それぞれ50年以上が経過し、平成元年度から3カ年にわたる大規模改修では、東側(職員玄関側)のL字に突起した部分を増築、その後、平成25年に外壁を全面改修したこともあり、外観はそれほど古くは感じないものの、町の主な公用・公共施設の中では一番の老朽施設です。  
平成13年の大幅な建築基準法の改正で耐震設計基準が見直されたため、各公共施設の耐震診断を実施し、これまで学校校舎をはじめ、町民センター、町体育館など耐震補強を行ってきましたが、平成29年に防災拠点である役場庁舎の耐震診断を行ったところ、耐震基準を満たしていない診断結果とともに、経年により今後の耐用寿命も長くないとの指摘を受けました。  
このことから、庁舎改築を優先的に考え、第5期総合計画では、庁舎の建設を令和8

年度からの2カ年で計画しているところであり、この計画に基づき事業を実施するため、本年度より職員による検討委員会並びに町民による検討組織を立ち上げ、協議を進めていくとともに、将来の役場庁舎のあり方について、町民の皆さんからのご意見を求めた上で、庁舎改築にかかる構想を練っていきたいと考えています。  
■新型コロナウイルスワクチン3回目追加接種の状況  
3月18日から集団接種を開始し、5月18日をもって接種を完了しましたが、都合により接種できなかった方を対象とした個別接種を、5月19日からクリニックさろまにて実施しています。  
これまでの接種率は、5月18日完了時点で、65歳以上の高齢者2005人中、85・3%、12歳以上64歳以下の方が2594人中、66・8%となっており、全体では4599人中、74・9%となっています。  
なお、心配される接種後の副反応について、重篤となる症状等は発生していません。



# 第2回定例会

・一般質問②

※SDGsとは、「持続可能な開発目標」のことで、分かりやすく言うと、「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界中のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のこと。

**【質問】** 太陽光の有効・有益利用のため、町内2箇所にあるような太陽光発電所の新設や増設

**【答弁】(町長)** 電力費のうち高圧電力については、約20%割引の特約契約が来年以降は標準契約となるなど、年間約1千万円強の負担増が見込まれます。燃料費は、町の施設・車両関係の昨年度と一昨年度を比較し、合計で約540万円増となるなど、単価高騰に対する抜本的な解決は難しい状況ですが、引き続き節電に努めるなどの対応を図ります。

**【質問】** 住宅等への太陽光発電設備設置費用に対する町の補助制度が、平成30年度末で廃止されましたが、当時と現在の再エネへの町民の考えが大きく変化していることから、補助の再開や蓄電池設備などへの補助新設の考えを伺います。

**【答弁】(町長)** 町内2箇所の太陽光発電所は民間企業が設置のうえ事業を実施し、町有地を有償貸付しており、今後も企業からの建設要望があれば、町有地を有効活用して再エネの推進を図りたいと考えています。公共施設への設備設置については現状考えておらず、今後施設の更新の中で検討する必要があると考えています。

**【質問】** 太陽光とは別の再エネを有効活用した設備の計画など、町独自もしくは他の市町村との脱炭素化計画への共同参画などの考えを伺います。

**【答弁】(町長)** 酪農が主体の本町では、家畜ふん尿が最も効果的な再エ

**【質問】** 町民、企業、団体、町が一体となり町独自のSDGsに取り組むことが町の変革、将来を左右し、魅力発信の一つになると考えますが、SDGsについての考えを伺います。

**【答弁】(町長)** 第2期地域創生総合戦略の中でSDGsの理念を取り入れ、達成を見据えた施策の展開と関係性を視覚化して計画を推進しており、各分野で取り組むべきところを一つずつ行い、その積み重ねがSDGsの取り組みと考えており、目標を共有した協働によるまちづくりを進め、町の魅力発信に努めたいと考えています。

**【質問】** 原油及び電力などの価格上昇による町の影響はどれほどか伺います。

**【答弁】(町長)** 再生可能エネルギーへの取り組みについて



高橋紀久 議員

## 再生可能エネルギーへの取り組みについて

**再生可能エネルギーやSDGsへの積極的な取り組みが、今後のまちづくりを左右するのでは**

**町長：町に合った再エネ資源の活用方法を見極め協働によるまちづくりを推進する**

または既存の公共施設への太陽光発電や蓄電池設備の設置などの考えを伺います。

**【答弁】(町長)** 町内2箇所の太陽光発電所は民間企業が設置のうえ事業を実施し、町有地を有償貸付しており、今後も企業からの建設要望があれば、町有地を有効活用して再エネの推進を図りたいと考えています。公共施設への設備設置については現状考えておらず、今後施設の更新の中で検討する必要があると考えています。



## SDGsへの取り組みについて

**【質問】**

町民、企業、団体、町が一体となり町独自のSDGsに取り組むことが町の変革、将来を左右し、魅力発信の一つになると考えますが、SDGsについての考えを伺います。

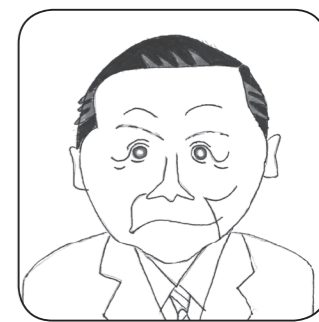
**【答弁】(町長)**

4名の議員が一般質問を行いました。  
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

# 第2回定例会

・一般質問①

# 一般質問



面 栄次 議員

## 住民窓口サービスの向上について



**【質問】** 各種手続きのため役場に訪れた際に、関連部署へ次々と移動させられるなどといった話を以前から耳にしています。北見市では2009年から窓口業務改善への取り組みを続け、申請書等を「書かない窓口」やワンストップ窓口案内といった、来庁者の手間を省くサービスを実現し、注目されています。

**【答弁】(町長)** 正面玄関先の町民課窓口では、転入・転出や出生、お悔

**意外と面倒な各種行政手続き 申請者に優しい窓口業務改革の予定は**

**町長：「職員派遣型の総合窓口」 現状では最良の方法であると考え**

やみなどの手続きの際、本人に書類記入いただき、その書類内容の写しや情報をシステム入力することで、関連する担当係と情報が共有され、必要な手続き漏れがないよう各担当係と連携を取り、来庁者が移動せずにその窓口で手続きが済むように、各課の担当者が窓口に出向き対応する「職員派遣型の総合窓口」を積極的に進めています。

## 安全安心な「道」の整備について

**【質問】** 町内の各市街地には未舗装の道路や歩道が多くあり、時期や天候によってすぐに荒れた状態となります。

**【答弁】(町長)** 町道については認定基準があり、そのうち道路用地として7.7~7.2m以上の幅員があるものとしており、町道総延長322kmのうち、舗装延

長166kmで舗装率52%、住宅が面している道路の舗装率は96%となっています。

道路整備についての町の考え方としては、基本は住宅が面しており、不特定多数が多く利用する道路を重点的に改良舗装などを行い、歩道整備は、児童通学路を基本に歩行者の通行が多く予想される路線で、用地的に歩道確保が可能な路線に設置しています。

未舗装の町道管理については、基本砂利道路であることから、パトロール車にて巡回点検を行い、必要に応じてダンプトラックによる砂利の補充及びグレーダーによる路面整形を行い、除雪対応もしています。また、春先や悪天候時においても巡回を行い、更には住民の通報など、随時対応しています。

町道に認定されていない道路については、地域の要望があれば山砂利の無償提供を行い、運搬・砂利敷きについては有料ですが、できる範囲内での対応を行っています。

また、要望箇所については、以前から現地確認をし、道路の利用度合いや安全性、地域の寄与度などを勘案し判断のうえ対応しています。

# 第2回定例会

・一般質問④

【答弁】(町長) 令和3年度の特定健診では、39歳以下の対象者814人のうち28人の受診で3.4%、40歳から74歳までの対象者1201人のうち419人の受診で34.9%、75歳以上の後期高齢者では1047人のうち90人の受診で8.6%の受診率となっております。

各種がん検診の受診率は、胃がん検診9.4%、肺がん検診13.4%、大腸がん検診

【質問】 日本人の死亡率はがんが一番多く、現在では血液検査でがんの早期予防ができることから、受診者が細かい検査内容をオーダーすることが可能であるか伺います。

【答弁】(町長) 例年、基本検査項目により北海道対がん協会、遠軽厚生

【質問】 厚生労働省では、4月から子宮頸がん予防ワクチンの接種推奨を再開し、余市町では対象年齢内での接種分について全額助成をするという報道がありました。町ではこのワクチン接種についてどのように考えているか伺います。

【答弁】(町長) 町として同じく制度化した時に、どれくらい町の民の方が受診をしていただけるかという部分もあるため、今後の余市町の情報入手も含め、調査を進めたいと思います。

【質問】 観光には「食する・体験する」といった楽しみがあり、地元限定グルメの開発や体験型の観光など、今後進めたいと考えている計画があるか伺います。

【答弁】(町長) 食に関しては、民間や各団体で新しいアイデアがあれば町としては開発等に向けた支援を惜しまない考えです。

また、役場前の旧ぶーにやの土地・建物を活用し、観光物産協会事務所として情報発信のできる拠点とするほか、観光客や町民の方が気軽に立ち寄って交流したり、体験型の観光を提供する拠点として整備を進めていこうと考えています。

## 町民の健康診断について




三田真美 議員

【質問】 町民が受ける特定健診の年代別受診率と、各種がん検診の受診率について伺います。

また、クリニックさろまで実施している肺や内臓脂肪CT健診の受診実績についても伺います。

【質問】 病気の早期発見に繋がる特定健診 選べるオプション検査項目の追加は可能か

町長：健診の枠を広げていき 自身の健康を守る気持ちを持つことが大切

14.2%、子宮がん検診6.4%、乳がん検診8.0%となっております。

次に、40歳から64歳以下の町民を対象とした肺・内臓脂肪CT検診の実績ですが、平成30年度が42人、令和元年度が41人、令和2年度は28人で、コロナウイルス感染症の影響により受診者は減少していましたが、令和3年度は44人と持ち直し、今年度は5月末現在で既に11人の受診者数となっております。

【質問】 サロマでしか体験できない「食・観光」について

【答弁】(保健福祉課長) 厚生労働省では、平成25年から副反応リスクを懸念し積極的勧奨を控えていましたが、本年4月から再開し、その間に接種機会を逃した方に対しては接種費用を助成できるように予算組みしているとのことです。

【質問】 観光には「食する・体験する」といった楽しみがあり、地元限定グルメの開発や体験型の観光など、今後進めたいと考えている計画があるか伺います。

【答弁】(町長) 食に関しては、民間や各団体で新しいアイデアがあれば町としては開発等に向けた支援を惜しまない考えです。

また、役場前の旧ぶーにやの土地・建物を活用し、観光物産協会事務所として情報発信のできる拠点とするほか、観光客や町民の方が気軽に立ち寄って交流したり、体験型の観光を提供する拠点として整備を進めていこうと考えています。

# 第2回定例会

・一般質問③

【質問】 コロナウイルス感染症の発生により、生理の貧困が表面化して社会問題となり、女性の健康や尊厳に関わる重要課題として厚生労働省が調査をし、結果も発表されています。学校等への生理用品の配置は、2019年5月19日時点では94自治体ということですが、その多くは防災備蓄を活用していると内閣府男女共同参画局が公開していますが、その後も実施している自治体が増えていると考えています。

生理用品の配置は、貧困対策ではなく女性の健康等のために必要であり、町として学校のみならず、子ども達が利用する各施設への配置についても取り組んでいただきたく、町の考えを伺います。



但木早苗 議員

【質問】 学校のトイレの生理用品の配置について

【答弁】(教育長) 教育委員会でも、昨年度より学校へ確認をし、検討をいたしました。

現状、学校では保健室へ配置して養護教諭が保健指導も兼ねて渡しており、大きな都市では、トイレに配置を要するところが増えた例もありませんが、今後は町としても学校と協議し、トイレへの配置方法など前向きに検討していきたいと思っております。

【答弁】(町長) まずは利用度の高い学校から前向きに検討していき、他の公共施設については、どこまでの施設が対象になるのか現場の声も聴きながら確認し、検討したいと思っております。

また、今までは防災備蓄の中で生理用品までは備蓄をし

「生理の貧困」が社会問題に 町ではどのような取り組みができるか

教育長：現状の保健室やトイレへの配置も含め 学校側と協議し、前向きに検討する

【質問】 地球温暖化対策について

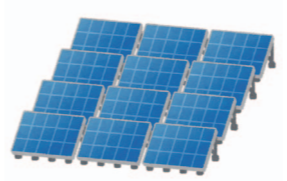
【答弁】 国の示す事務事業編として義務づけられていた2017年から2021年までの第2次計画が終了したところで、昨今の異常気象等を見ると、この対策は取り組まなければならない課題の一つであると考えます。

次の段階の地球温暖化対策ということで、その計画立案に当たっては町民や企業とも一緒に考えていく土壌を作っていく、そのための十分な情報発信も必要であると思っておりますが、町の考えを伺います。

【答弁】(町長) 第2次計画での5年間の取り組み成果を基に、第3次温暖化対策実行計画(令和5年度)の策定に向け、町の事務事業における温室効果ガスの削減目標などを定め、より一層取り組みを強化していきたいと考えています。

現在、町内2箇所に設置されているメガソーラー発電所の1年間のCO2削減効果は、若佐で390トン、富丘で550トンの効果を生んでおり、森永乳業佐呂間工場では、平成30年に主たる燃料を重油から天然ガスに転換をし、年間5000トンのCO2削減効果をあげています。

これから町としても、大きく総合計画の中に位置づけ、積極的に取り組み、町民にも幅広く理解してもらい、町全体で取り組みを進めていくことを考えていかなければならないと思っております。



# 議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査

## 第2回臨時会

・審議した議案②  
・町長行政報告

## 第2回臨時会

・審議した議案①

第2回臨時会が4月28日に開催され、議案2件、承認5件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

**■専決処分の承認**  
町税条例の一部を改正する専決処分について承認しました。  
これは地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布され、同年4月1日から施行される所要の規定の整備等を行うため、条例の一部を改正しました。

### 町長行政報告(要旨)

**■新型コロナウイルス感染症の感染状況・ワクチン接種**  
本町では3月21日から4月17日までの4週に渡り26名の感染が確認され、その間には中学校の閉鎖、一部を除く公共施設の利用休止などの対応をしました。  
また、3月18日から3回目のワクチン追加接種を実施しています。

**■サロマ湖100kmウルトラマラソン大会の中止**  
今年も新型コロナウイルス感染症状況から開催中止が決定し、昨年も実施されたスマートフォン用アプリを使用した代替大会の開催が検討されています。

**マイナンバーカードの健康保険証利用を見据え 対応する医療関連機器を更新**

### 予算

**■令和4年度一般会計補正予算(第2号)**  
1373万円が追加され、予算の総額が55億9460万円になりました。

### その他

**【主な歳入】**  
・新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金 501万円  
・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 334万円  
・学校保健特別対策事業費補助金 180万円  
・財政調整基金繰入金 358万円

**【主な歳出】**  
・予防接種委託料 667万円  
・備品等購入費(観光施設) 164万円  
・学校保健特別対策事業費交付金 360万円

### 財産の取得

クリニックさろま開設時から使用している電子カルテ及び、連動する関連機器のシステムサポート期限も迫り、検査機器類も耐用年数を越えたため、次のとおり更新しました。

- ①取得する財産
- ◎カルテ維持システムオンライン資格認証
- ◎予約システム
- ◎自動精算機
- ◎健康システム
- ◎全自動血球測定器
- ◎放射線画像管理サーバー
- ◎検査管理サーバー
- ②取得価格 5629万円
- ③納入期限 令和4年7月31日
- ④取得の方法 随意契約
- ⑤売買の相手方 札幌市豊平区平岸三条5-4-22 PHCMティコム株式会社 札幌営業所 所長 西條泰弘

**■専決処分の承認**  
令和4年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分について承認しました。  
179万円が追加され、予算の総額が55億8087万円になりました。

### 【主な歳入】

・財政調整基金繰入金 179万円  
**【主な歳出】**  
・宿泊業活性化補助金 179万円

### ■専決処分の承認

令和3年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分について承認しました。  
1億7529万円が追加され、予算の総額が62億8178万円になりました。

### 【主な歳入】

・法人町民税 1857万円  
・法人事業税交付金 490万円  
・地方消費税交付金 2007万円  
・新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 702万円  
・特別交付税 1億3438万円

・リサイクル施設建設事業費 ▲410万円  
・道営畑地帯総合整備事業費(営農用水) ▲660万円  
・消防車両購入事業費 ▲510万円  
**【主な歳出】**  
・財政調整基金積立金 1億7800万円

### ■専決処分の承認

令和3年度簡易水道特別会計補正予算(第4号)の専決処分について承認しました。  
なお、予算の増減はありません。

### ■専決処分の承認

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分について承認しました。  
6184万円が減額され、予算の総額が7億7148万円になりました。

### 【主な歳入】

・保険給付費等交付金(普通交付金) ▲6126万円  
**【主な歳出】**  
・療養給付費負担金 ▲4386万円  
・高額療養費負担金 ▲1673万円

## 総務福祉常任委員会現地調査(令和4年6月6日)

総務福祉常任委員会では、町内2カ所の施設を現地調査しました。

### 障がい児通所支援施設「めぐるく」

早期の通所支援を始めることで、遊びや運動、社会参加などの経験から発達障害などの改善に繋がるとの考えから、発達に心配がある小学生から18歳までの児童生徒を対象として平成25年8月に開設された施設です。



めぐるくの外観



施設内に設置されたエアコン

本施設内にエアコン3台を設置し、通所する子ども達が活発に活動するための環境づくりに取り組まれています。  
今後においても、本施設が地域で生活する障がい児への支援拠点として安全安心な運営がなされることを強く望みます。

本施設は、幌岩地区住民の活動拠点として平成4年に建設されましたが、約30年が経過し老朽化が著しいことから、傷みが目立つ壁及び屋根の塗装工事、ポーチの修繕を実施し、きれいな仕上がりとなっております。

### 幌岩公民館

町の地区集会所施設整備費補助制度を活用し、昨年度に改修された幌岩公民館を視察しました。



外壁など施設周辺を視察

# 議会ニュース

・議会の活動状況

# 議会ニュース

・産業文教常任委員会現地調査



- 令和4年5月**
- 5月9日(月) ◎オホーツク町村議会議長 会役員会
  - 5月19日(木) ◎高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会総会(紋別市)
  - ◎オホーツク紋別空港利用整備促進期成会定例総会(紋別市)
  - 5月20日(金) ◎第2回遠軽地区広域組合議会臨時会(遠軽町)
  - 5月24日(火) ◎議会活性化特別委員会
  - 5月28日(土) ◎オホーツク圏活性化期成会定期総会及び田畑裕明総務副大臣への要望会(北見市)
- 令和4年6月**
- 6月2日(木) ◎遠軽地区市町村議会議長 会総会(遠軽町)
  - 6月3日(金) ◎サロマ湖開発期成会通常総会(北見市)
  - 6月6日(月) ◎総務福祉常任委員会及び現地調査(※詳細は11頁)
  - 6月7日(火) ◎産業文教常任委員会及び現地調査(※詳細は12頁)
  - 6月9日(木) ◎遠軽地区総合開発期成会 網走要望(網走市)
  - 6月14日(火) ◎北海道町村議会議長会第73回定期総会及び議長・事務局長研修会(札幌市)
  - 6月16日(木) ◎議会運営委員会
  - 6月17日(金) ◎町議会第2回定例会
  - ◎産業文教常任委員会
- 令和4年7月**
- 7月6日(水) ◎北海道町村議会議長会 議員研修会(札幌市)
  - 7月8日(金) ◎オホーツク圏活性化期成会建設経済専門委員会(北見市)
  - 7月19日(火) ◎議会広報特別委員会
  - 7月21日(木) ◎高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望(東京都)
  - 7月22日(金) ◎オホーツク圏活性化期成会中央要望(東京都)
  - 7月26日(火)・27日(水) ◎遠軽地区総合開発期成会中央要望(東京都)

## 議会の活動状況

令和4年5月～令和4年7月

令和4年5月

令和4年6月

令和4年7月

- 6月20日(月) ◎議会運営委員会
- ◎町議会第2回定例会
- ◎町立診療所特別委員会
- ◎議会広報特別委員会
- 6月21日(火) ◎議会活性化特別委員会
- 6月22日(水)・23日(木) ◎遠軽地区総合開発期成会 北海道要望(札幌市)



研修会場の様子(札幌コンベンションセンター 大ホール)

**北海道町村議会議長会 議員研修会に参加**

7月6日、札幌市で3年振りに開催された議員研修会に、本町から7名の議員が参加しました。

研修会では、政治ジャーナリストの泉宏氏が「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」と題して、自身が政治記者を始めて以来、永田町・霞ヶ関で政治を見続けて40年以上の間にあった様々な国会議員との話や参院選の行方、今後の国内外の政治情勢予測などについて講演されました。



更新されたシャッターや除雪機械を視察

## 除雪センター

産業文教常任委員会では、町内2カ所の施設を現地調査しました。

施設建設後45年以上が経過し、全体的に老朽化が進んでおり、そのうち除雪機械が格納されている車庫部分のシャッター12カ所のうち5カ所が電動シャッターであり、老朽化による故障や過去に発生したブラックアウトなど、緊急時における開閉時に支障を来す恐れがあったため、

令和2年度より5カ年計画で電動シャッターから手動式へ更新しています。

除雪機械は、冬期間の除排雪作業はもろろのこと、春から秋にかけては未舗装の町道整地や草刈作業など、多種多様な業務を実施し、自然災害発生時には緊急出動することも想定されるため、日頃から車両整備が施されています。

## 佐呂間中学校



中学校に協力いただき、令和3年度から本格的に運用開始されたGIGAスクール構想における一人1台タブレット端末等を使用した授業を視察しました。

教頭からの活用実績についての説明では、タブレット端末を毎日自宅に持ち帰らせていることで、本年4月に3日



中学校教頭との懇談の様子

間の臨時休校となった際には、朝の会から授業、そして帰りの会までをリモートで実施したり、家族に力添えの方があり大事をとって欠席する場合でも、教室の中継用端末に繋いで授業を受けられるなどといった対応ができたことでした。

また、国語や数学、英語の科目ではデジタル教科書として使用したり、密を避けるため生徒総会をリモートで行ったり、各種アンケート調査の集約や部活動の保護者会をリモートで実施するなど、幅広い



タブレット端末を使用し授業を受ける生徒たち

く有効的に活用されています。

2年生の国語の授業では、デジタル教科書の本文や内容を整理するためのワークシートを電子黒板に映し出して説明し、生徒は手元の端末を利用して問題を解いてワークシートに入力する、ノートを取るなど、現代の授業風景に驚かされました。

その他、町内各小学校では、理科の観察記録のために写真を撮ったり、姉妹都市の小学校とのリモート交流など、今後においても様々な活用方法を模索しながら、児童・生徒そして教員がより良い環境の中で学習・生活されることを望みます。

町で輝いている人たちを紹介します



佐呂間町野球協会は、昭和47年に発足し、現在町内リーグ6チーム、社会人チーム2チームの計8チームの選手たちで構成されています。

町内リーグ戦は毎年開催しており、今年も6月から開幕し、早朝から熱い試合を繰り広げています。

また、対外試合にも積極的に参加しており、野球少年団、社会人野球チームにおいては、これまでに全道大会、全国大会へ出場するなど、すばらしい成績を残しています。

しかし、近年の悩みと言えば、競技人口が年々減少していること。

少しでも野球に興味をお持ちの方がいましたら、初心者、上級者関係なく、楽しんでプレイすることができしますので一緒に楽しみましょう！



令和4年8月発行

発行 佐呂間町議会

議長のひとこと

今年もまた、8月になって暑い夏がやって来た。

先月は、佐呂間高校も学校祭で熱いパフォーマンス。我が地区も3年振りの盆踊り。小人も大人も久しく浴衣姿。花火も「ドーン」と上げました。

普通の日々が少しずつ戻って来た。当たり前のようなことが、こんなにも嬉しく楽しいことに気付かされました。

この穏やかな日常を奪われてしまったウクライナの人々にも、一日も早く平和な日々が訪れることを心から祈っています。

令和4年夏に、しみじみ感じ入っている。



山内 一弘

編	集
議 会 廣 報	会 員 長
特 別 委 員	副 委 員 長
委 委 委	委 員
員 員 員	員
面 渡 山 土 高	面 辺 内 田 橋
栄 一 一 剛 紀	次 馬 弘 剛 久
	次 一 弘 剛 久

〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1  
 ☎01587-2-1291 FAX2-3368 (役場兼)